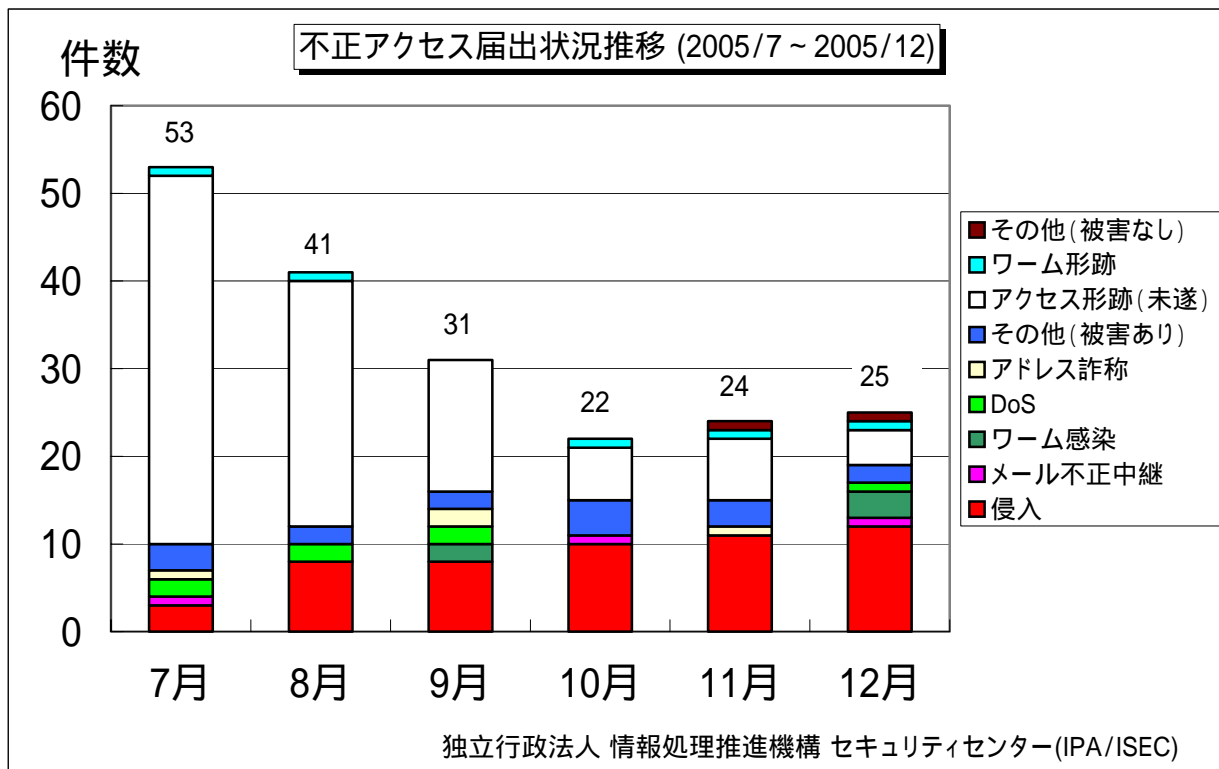


コンピュータ不正アクセスの届出状況 [2005年12月分] について

1. 不正アクセス届出の詳細

(1) 不正アクセス届出件数の月別推移



(2) 不正アクセス届出種別の月別推移

届出種別	7月	8月	9月	10月	11月	12月
侵入	3	8	8	10	11	12
メール不正中継	1	0	0	1	0	1
ワーム感染	0	0	2	0	0	3
DoS	2	2	2	0	0	1
アドレス詐称	1	0	2	0	1	0
その他(被害あり)	3	2	2	4	3	2
アクセス形跡(未遂)	42	28	15	6	7	4
ワーム形跡	1	1	0	1	1	1
その他(被害なし)	0	0	0	0	1	1
合計(件)	53	41	31	22	24	25

注) 網掛け部分は、被害があった届出種別を示しています。

(3) 届出者別件数

法人ユーザからの届出が 40%、教育・研究機関からの届出が 60%を占めています。

注)割合の数字は小数点第二位を四捨五入していますので、合計が 100%ちょうどにならない場合があります。

原因	届出件数					
	2005年12月		2005年11月(前月)		2004年12月(前年同月)	
一般法人ユーザ	10	40.0%	3	12.5%	1	1.8%
個人ユーザ	0	0.0%	16	66.7%	51	92.7%
教育・研究機関	15	60.0%	5	20.8%	3	5.5%
合計(件)	25		24		55	

(4) 被害原因別件数

12月に届出されたうち被害のあったもの 19 件について、原因の内訳は、ID・パスワード管理不備が 6 件、古いバージョン使用・パッチ未導入が 3 件、設定不備 2 件、などでした。

原因	届出件数					
	2005年12月		2005年11月(前月)		2004年12月(前年同月)	
ID・パスワード管理不備	6	31.6%	6	40.0%	0	0.0%
古いバージョン使用・パッチ未導入	3	15.8%	2	13.3%	0	0.0%
設定不備	2	10.5%	1	6.7%	1	25.0%
不明	6	31.6%	5	33.3%	3	75.0%
その他(DoSなど)	2	10.5%	1	6.7%	0	0.0%
合計(件)	19		15		4	

注)割合の数字は小数点第二位を四捨五入していますので、合計が 100%ちょうどにならない場合があります。

2. 12月に掲載した脆弱性情報

12月に IPA にて掲載した、脆弱性に関連する他組織からのお知らせです。

Microsoft

- ・ Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム (MS05-054)
- ・ Graphics Rendering Engine の脆弱性によりコードが実行される可能性

Opera Software ASA

- ・ Opera に脆弱性

詳細は以下の URL を参照してください。

「脆弱性関連情報 2005 年 12 月分」

<http://www.ipa.go.jp/security/news/news0512.html>

・コンピュータ不正アクセス被害の届出制度について

コンピュータ不正アクセス被害の届出制度は、経済産業省のコンピュータ不正アクセス対策基準に基づき、'96年8月にスタートした制度であり、同基準において、コンピュータ不正アクセスの被害を受けた者は、被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報をIPAに届け出ることとされています。

IPAでは、個別に届出者への対応を行っていますが、同時に受理した届出等を基に、コンピュータ不正アクセス対策を検討しています。また受理した届出は、届出者のプライバシーを侵害することがないように配慮した上で、被害等の状況を分析し、検討結果を定期的に公表しています。

コンピュータ不正アクセス対策基準

- ・通商産業省告示第362号 平成8年8月8日制定
- ・通商産業省告示第534号 平成9年9月24日改訂
- ・通商産業省告示第950号 平成12年12月28日改訂
- ・経済産業省告示第3号 平成16年1月5日改訂

お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター

加賀谷 / 花村 / 内山

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp